

# ASA

## 第64号

2016年 10月20日

# ずうぼらだよい



サルビアの赤は秋の色です。今が見ごろ

### 64号 もくじ

- ・ ナイトガイドレポート 2
- ・ ツアーガイドレポート 3~6
- ・ 10月の連絡会の報告 7
- ・ 研修報告「沖縄（自己）研修 8
- ・ 作業グループ活動報告 9~10
- ・ ひつじ村から・ボランティアの皆さまへ 11
- ・ 動物園ニュース 12
- ・ 予定表（11~12月） 13~14





## ナイトガイドレポート



- ・開催日：平成28年8月20日（土） 17：30～20：00ごろ
- ・天候：晴れ
- ・参加ガイド：H.A、K.O、I.K、A.K、T.T、S.N
- ・場所：リクガメ広場

8月13日からナイトサファリが始まり、2週目の20日に有志が参加して、ナイトガイドを行いました。真夏ではありますが、夕方になると思ったより涼しくなりました。日が暮れるにしたがい徐々に来場者も増えてにぎやかになってきました。若い来場者が多かったのは意外でした。

ナイトガイドが始まると、並べていた毛皮に興味を持って人が集まってきました。参加者みんなでガイドをしたり、毛皮などを見せる手伝いをしたりしました。それぞれの動物の前でのガイドとは違いますが、毛皮など実物に触れてもらう良い機会になりました。

今回は毛皮を使っただのガイドと、私個人でのガイド（シロフクロウ）をしました。

毛皮に興味を持ったお客様が思ったより大勢いらっしゃいました。

8月20日に参加された方は、ぜひ個人でのガイドに役立ててください。

そして、興味を持たれた方は、ナイトガイドやツアーガイドに参加してください。

(引き出しをたくさん作っておくと、お客様の対話など、ガイドしていてとても楽しいです)



ナイトガイドの様子

記録：H.A



## ツアーガイドレポート9月



- ・開催日：平成28年9月4日(日) 10:30~11:30
- ・天候：小雨のち曇り
- ・解説動物：ヒツジ(M.K)⇒ペンギン(K.S)⇒カメ(S.T)〈ぴーちくパーク〉
- ・ボランティアスタッフ：H.A、K.O、H.O、I.K、A.K、K.K、T.K、M.D、T.T、S.M
- ・参加人数：22名

朝から小雨が降りお客さんの参加が心配されましたが、ツアーガイドが始まるころには雨が上がり、一同ホッとしました。22人の参加者も集まり盛況でした。

今回は、ぴーちくパークの動物だけでガイドをするという試みでした。ぴーちくパークは子ども動物園というイメージが強かったのですが、思いのほかいろいろな動物がいることに興味を持ちました。

### \*ヒツジのKさん

ヒツジ村の村長さんのKさんですから、ヒツジに関する知識やヒツジ関連グッズなど沢山の引き出しをお持ちです。お客さんはステージの椅子に座って、じっくりと話を聞いて楽しむガイドでした。

ヒツジにしっぽはあるでしょうか。生まれた時にはあるが、病気を防ぐために断尾します。ヒツジの毛は、毛糸として、腸はハーブの絃として、爪は楽器としてなど様々なところで使われています。



ヒツジからペンギンへの移動途中、桑原さんがシマリスのミニガイドをしてくださいました。

シマリス舎の中に、飼育係が手作りした干し草のかたまりがあります。シマリスは、その干し草に穴を掘り、自分で巣を作ってその中に赤ちゃんを産み育てます。

### \*ペンギンのSさん

久しぶりのガイドということでしたが、ゆったりとした間の取り方で話され安心感のあるガイドでした。ペンギン大好き！という気持ちが伝わってきました。

ぴーちくパークにいる4羽のフンボルトペンギンは、10年前に宮島水族館からやってきました。

鳥の仲間なのに水の中を泳ぐ不思議な生き物です。水の中を泳ぐときは、目に幕をおろします。自家ゴーグルのようです。体はツルツルのように見えるが、羽毛でおおわれていて、1年に一回8月に抜け替わります。時速24キロの速さで泳ぐことができます。足の水かきは、方向転換のときに使います。

### \*カメのTさん

今回は、カメのガイドで登場。昨年まで飼育係をされていたのだから、どの動物でも話せるのは、当たり前と言えば当たり前ですが、一人でツアーガイドができそうなのはうらやまし限りです。

ぴーちくパークのカメはヌマガメの仲間です。クサガメ・アカミミガメ・イシガメの3種類がいます。ガイドを始めたとき、奇しくもその3種類のカメがそろって日向ぼっこをしていました。

カメの分類として、首を引っ込めるカメとそれ以外のカメに分けられます。首を引っ込めるタイプは更に、潜って収めるタイプと横にふって収めるタイプがあります。3億5000万年前から姿を変えずにいます。



(報告：H.A・T.T)

ツアーガイドを終えて

**\*ペンギンのK. Sさん**

私にとってのペンギンの魅力は、立ち姿・歩く姿・泳ぐ姿が同一動物の動きとは思えないこと。ましてや鳥であること。地球の裏側に棲むフンボルトペンギンは、広島の人にはなじみがあって宮島水族館にも仲間がたくさんいるが、絶滅危惧種であること。9年前にガイドボランティアに登録した時は、いの一番にペンギンの紹介をしたいと思います。しかし！調べてみると私の知らないことだらけ、気持ちはあっても、敷居がとても高くなってしまいました。



それからずっと、気になりながらも一度もガイドすることなく、今年はガイド登録を休ませていただく電話をして数ヵ月後、ガイドの話が私の携帯電話にありました。なぜか「はい」と答えて、当日がやってきたのです。

ガイドを始めるときに集めた資料、旭川動物園に行って泳ぐペンギンに出会ったときの感動と資料、9年間ペンギンへの思いで集めたグッズなど、10分の持ち時間ではお伝えすることは不可能でしたが、“ペンギン愛”は聞いてくださる皆さんに伝わったでしょうか。

声をかけてくださった役員の方、ペンギン飼育担当の東さんに出会えてよかったです。ありがとうございました。

ぴーちくパークのツアーガイドに関連して、ポニー大好きなAさんからポニーへの熱い思いが寄せられました。

**ポニー（馬）達大好き**

小さなころからなぜか馬が好きで、「動物」というと、馬を連想していました。「パカパカ（馬さんごっこ）」と言っては祖父に乗り、馬の乗り方を教えてもらいました。本当の馬に乗ったのは、20歳の頃でした。「あの頃は、いい時代だったな。」と思います。



ボランティアの方の中には馬が好きな人もたくさんいて、その方のガイドが聞けてとても勉強になっています。これからも色々なお話を聞かせて下さい。

今からでもしっかり勉強したら馬医さんになれるかな。それとも馬術でオリンピック選手に挑戦できるかな。物事を始めるのに遅いことはないと言われてますが、これからの人生何か1つ頑張っ、成し遂げることができるといいなと思います。

投稿：H.A



## ツアーガイドレポート10月



- ・開催日：平成28年10月2日（日） 13：30～14：30
- ・天候：曇り
- ・解説動物：小獣（K.O）⇒クマ（K.T）⇒大鳥舎（S.T） <Cグループ>
- ・ボランティアスタッフ：I.Y、H.O、T.K、T.K、M.D、T.T、T.T、S.N、Y.H、N.M
- ・参加人数：5名

気候の良いこの季節は安佐動物公園ではいろいろなイベントもあり、午前中から多くの来園者でにぎわっていました。ツアーガイドのチケットも早々に完売！と喜んだのですが、いざツアーガイドが始まる時刻になっても集まった参加者は5人。しかし、ガイドが始まるとツアーガイド参加者以外の方も足をとめて、ガイドと一緒に聞いて楽しんでいただきました。

### \*小獣のOさん

今年度ニューフェイスのOさんですが、4月からツアーガイドや連絡会などに積極的に参加されています。やさしい口調で話されるので、聞きながら思わずうん、うんとうなずいてしまいます。キツネ・タヌキ・アナグマ・ハクビシンの似ているところや違うところを比較しながらのガイドでした。

タヌキよりアナグマの方がでっぷり太く、タヌキのイメージに近い。4種の小獣の足の形、爪、指の話の中で、それらの「形が似ている動物は似た生活をしている」という話になるほどと思いました。足当てクイズに子どもたちが一生懸命参加していました。

### \*クマのTさん

ガイド1期の大先輩のTさんのガイドは、さすがと思わせる豊富な知識と話術で参加者をぐいぐい引きつけます。

クマは、6月から7月に結婚式をして、その後雄と雌は離れます。冬眠中の2月に出産します。90%以上と、かなりの確率で雄と雌の子どもを産みます。ところが、安佐動物公園で誕生した2頭は雌と雌。冬眠前のこの時期、エサを求めてクマの活動は活発になります。クマにバッタリ出会ったらどうするクイズ。「死んだふり」「走って逃げる」「木に登る」「犬のように四つんばいになってほえる」どれも有効とはいえません。やはり、バッタリ出会わないように鈴などで音を出してクマに気づかせて近づかせないのがよいようです。



### \*大鳥舎のTさん

今回は、大鳥舎の鳥の話で登場のTさん。安佐動物公園には多種の鳥を集めた展示場が2カ所あります。ぴーちくパークの「ことりの家」と「大鳥舎」です。大鳥舎にはガンの仲間、カモの仲間とバンがいます。初耳続出のガイドでした。

例えば繁殖。オシドリは木の上に巣を作り卵を産み子育てをします。マガモやカルガモは低いところの草の中に巣を作ります。その習性に合うように大鳥舎では、高いところにオシドリ用の巣を設置するなど繁殖を助ける工夫がされています。マガモやコガモなどは、繁殖中の雄はきれいで目立ちます。それは、雌に主導権があるからだとか。そして、繁殖が終わると羽が抜け替わって地味な姿になります。



(記録：T.T)

ツアーガイドを終えて

\*小獣(キツネ・タヌキ・アナグマ・ハクビシン)のK.Oさん

今年度ガイドボランティアになって、初めてツアーガイドをしました。これまで、他の方々のガイドを見学して今日のツアーガイドに臨みましたが、いざやってみると思い通りにいきませんでした。テーマを絞って臨んだのですが、時間超過をしたのに、予定していたことの半分くらいしか話ができませんでした。しかし、ちっちゃい子どもさんや家族の方々の協力もあって何とか終わることができました。



身近な動物たちなので、違いや共通性など4種類一度にまとめて説明しようと試みました。しかし、立ち位置が悪く、説明に合わせて実際の動物たちを見比べることができませんでした(反省点)。掲示物をはる掲示板を持ってきてなかったなど準備不足でした(反省点)。また、一緒に回られたガイドの方々との連携を取ってやればよかったと反省点が続々出てきました。たぶん、説明も早口だったか(癖です)とも思いました。次回には反省点を踏まえて身近な動物への関心を高めてもらえるようなガイドをしたいと思いました。

<ツアー後の反省会>

- ☆ 10分間はあっという間で、予定の2/3の内容しか話ができなかった。幅広く話そうと思ったが、広げすぎたか。
- ☆ 実物があると参加者の興味を引く。
- ☆ タイムキーパーがあると目安になってよい。「O」か「終わり」のカードがあると終わりがよく分かる。
- ☆ 午後からのツアーガイドのときは、10枚はゲートの所で自由にとってもらう今までの配り方で、あとの10枚は直前にガイド動物の近くで配るようにすると確実に参加者を集められるのではないか。
- ☆ サポーターが10数名いるのはもったいない気がする。CグループのツアーガイドのときはCグループのボランティア中心でサポートしてはどうだろうか。A・Bの人の参加は自由に。

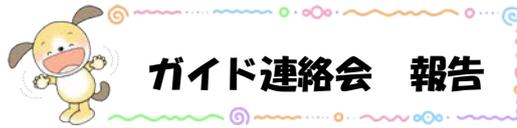
クマの毛皮です。触ってみてください。



<今後のツアーガイドについて>

- 11月はAグループ。12月はBグループ。1月と2月はツアーガイド休み。3月はCグループ。
- 4月には決まらなかったCグループの幹事をK.Oさん、M.Dが受けてくださり、すでに活動していただいています。Cグループの方々にツアーガイドの件で連絡を取らせていただくことがあると思います。

(報告 : T.T)



<10月の連絡会>

日時：10月2日（日）

参加者：14名

場所：動物科学館2階

\* 今回の主な話題

- ナイトサファリの活動報告
- 9月のツアーガイドの活動報告
- 作業ボランティアの活動報告

○ ツアーガイドについて

ツアーガイドの後に毎回反省会をして、良かった点や改善した方がよい点などを明らかにして次回に臨んでいます。今回、それらを踏まえていろいろな意見がでました。

- ・ガイドボランティアみんなが参加する仕組みを作るために、年間計画を作成して割り当てをしてはどうか。
- ・現在、ツアーガイドは日曜日に実施しているが、日曜日だと参加したくても参加できない人がいることを考慮して、土曜日に実施日することも考えてはどうか。
- ・一人でガイドをすることに不安や抵抗がある場合は、複数でサポートし合いながらガイドするやり方はどうか。
- ・足が遠のいている人に再び動物園に足を向けてもらえるように、ペアでガイドするなど「一緒にガイドしよう」と声を掛けることがきっかけになるのではないか。

今回の結論としては、4月の来年度の総会に改善した形で提案ができるように、12月、2月の連絡会で検討を積み重ねようということになりました。より多くの皆さんの意見が集まるように参加をよろしくお願いします。

○ 園外研修について

11月8日（火）に園外研修を計画しています。H.Oさんの案内で紅葉の三段峡を散策して秋を満喫したいと思います。足への負担を軽くするために上流から下流に向かって歩く予定です。平日なので混雑も少し緩和されるかもしれません。作業ボラの方もガイドボラの方も皆さんご参加ください。申し込みは10月31日までに同封のハガキにて。（別紙案内参照）

ツアーガイド（予定）

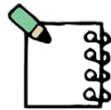
11月6日（日）

ガイド時間：10：30～11：30  
 集合場所：10：00にボラ室  
 ガイドする場所：Aゾーン  
 ガイド動物：フラミンゴ、キリン、ゾウ

12月4日（日）

ガイド時間：13：30～14：30  
 集合時間：13：00にボラ室  
 ガイドする場所：Bゾーン  
 ガイド動物：オオサンショウウオ、フタコブラクダ、マレーバク  
 ※10：00～12：00 連絡会と研修があります。

（記録：T.T）



## 研修報告 「沖縄（自己）研修」



講師：企画広報係 市川 彩代子

9月27日（火）から29日（木）に沖縄へ自己研修旅行に出かけられた、ほやほやの報告を聞かせていただきました。

今回4度目の沖縄。主な行先は、「沖縄美ら海水族館」と「沖縄こどもの国」と「やんばる学びの森」。おまけ(?)で「ひめゆりの塔」でした。

研修旅行なので目的を設定しました。①他園館の展示方法、飼育方法、コンセプトを安佐動物公園と比較しながら見る。②他園館の職員と交流を深める。③野生動物の保全状況を知る。④これまで会えていなかったヤンバルクイナとイシカワガエルに出会う。

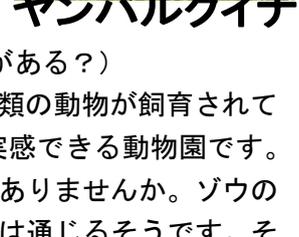
沖縄到着1日目の夜、ゴーヤチャンプルとウリズン豆でお腹を満たして、9時過ぎにヤンバルクイナとイシカワガエルに会いに国頭村（くにがみそん）のやんばるの森に出かけました。歩いているとこんな動物に出会いました。ヒメハブ(ハブより一回り小さく毒も弱い、毒蛇)、ホルストガエル(体長10cm余りのカエル。ジャンプ力がある。)。イシカワガエル(背面の体色は緑色で黒褐色の斑紋が入っている。ホルストガエルよりやや小さい)。ハナサキガエル(絶滅危惧Ⅱ類。体長約5cm。体色は褐色に緑色の斑紋)。などなど。しかし、野生のヤンバルクイナには出会うことができませんでした。そこで次の日、ヤンバルクイナを飼育している施設に、ヤンバルクイナに会いに行きました。

ヤンバルクイナ生態展示学習施設(平成25年9月オープン)ではヤンバルクイナを飼育しており、生態を観察することができます。また、豊富な展示物があり、ヤンバルクイナについて詳しく知ることができました。

次に訪れた沖縄美ら海水族館は、大水槽・小水槽で多くの海洋生物が展示されています。展示方法に他の水族館と大きな違いはないが、説明の読みものも多く、日本語・英語で書かれていました。また、動物ごとに動物解説の立派な1枚ものの資料が置いてあり、自由に取ることができました。(国営の水族館なので資金がある?)

続いて訪れた沖縄こどもの国には、哺乳類、鳥類、魚類、爬虫類など約200種類の動物が飼育されています。それら多彩な動物達を身近に見ることで、生命の尊さやすばらしさを実感できる動物園です。園内に入ってまず驚いたのは、園路をインドゾウが(自由に?)歩いているではありませんか。ゾウの息抜きのための散歩だそうです。ゾウはトレーニングされ、幼児語くらいの言葉は通じるそうです。そのゾウの背中に乗せてもらいました。知らない人を突然乗せることになって大丈夫だろうかと思いましたが、イレギュラーな出来事(ちょっとした変化)に慣らすためだそうです。さらに与那国馬が、園内をパカパカ歩いていました。与那国馬は、伝統文化(シマハラシー)の練習をしているところだそうです。沖縄固有の犬、琉球犬・大東犬も飼育されていました。この動物園では、それぞれの動物の担当者各自が、園内でエサの調達をするので大変だそうです。また、獣舎の床にワラをしいてやりたいが資金難のため敷いてやれず、ゴム製のすべり止めで代用しているそうです。3時間の滞在があつという間に終わるくらい、沖縄の方々は話好きでした。

最後に、設定した目的を評価すると、①他園館の展示方法、飼育方法、コンセプトを安佐動物公園と比較しながら見る。△ ②他園館の職員と交流を深める。○ ③野生動物の保全状況を知る。○ ④ヤンバルクイナとイシカワガエルに出会う。△ という結果でした。なんと言っても、野生のヤンバルクイナに会えなかったのが残念でした。是非次回こそはと思っています。



(記録：T.T)



## 作業ボラ活動報告



8月20日(土)

正面入口前・ヒヒ山前大丸鉢 ヒマワリ撤去、サルビアの苗植付け。

展望台ヒマワリ撤去、マリーゴールド苗植付け。

ヒマワリの切り花は入園者持ち帰りとなりました。

(参加者17名)

8月27日(土)

有志でのパンジーの種蒔き。

9月3日(土)

ぴーちく広場・西園 ポーチュラカ撤去、マリーゴールド苗植付け。

レストラン前丸鉢ヒマワリ撤去、マリーゴールド植付け。

ミニ売店横 ポーチュラカ撤去、マリーゴールド、サルビア植付け。

正面駐車場入口前 ポーチュラカ撤去、マリーゴールド植付け。

(参加者17名)

9月17日(土)

ヒヒ山前スロープのプランターベゴニア撤去、マリーゴールド植付け。

カボチャ畑跡 マリーゴールド植付け。

レストラン裏 石鉢のベゴニア見直し。全域追肥。

(参加者14名)

9月24日(土)

有志での活動 パンジーポット上げ。

(参加者8名)

10月1日(土)

パンジーポット上げ。

(参加者4名)

(報告者: K.S)

### 作業グループのみなさんへ

☆11月・12月の活動日のご連絡です

・11月…5日、12日、19日、26日(毎週土曜日)

・12月…3日、17日(第一・三土曜日)

\*12月は作業の進捗状況により上記以外に活動日がある場合があります。

11月は花の植替え作業が最盛期になるので毎週土曜日を活動日としました。ご協力をお願いします。





## 作業ボラ活動報告



### 「自画自賛」

雨の中、ビニールハウスの作業場でビオラの幼苗のポット上げをしていました。今日のキーワードは「自画自賛」。これは、元気の特効薬です。

私たち作業グループが安佐動物公園に植える花々の苗は、ほとんどが種から育てています。以前、花の選び方をお伝えしたことがあります。その選んだ花も種まきから開花まで、こつこつと作業が続きます。経験値と手間と運（天候の運）が出来不出来を左右することを日々感じます。

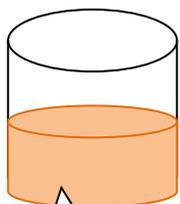


経験値は、先輩作業ボランティアの方々。いつ・どのように・どんな土に種まきすると発芽率が上がり、病害虫に侵されない元気で丈夫な苗に育てることができるかは、とても重要です。そして、水やりや丁寧な植え替えなどの手間は、経験値の高い先輩にアドバイスをいただきながらみんなで力を合わせます。これがうまくいくと、みんなのお手柄。「いい苗ができたね〜〜！」「手間がかかるけど、すじ蒔きがやっぱりいいね！」「ビニールハウスは遠いけど、日当たりはこっちがいいのかね。」でも、トレイによって、色によって発芽率も意外と差が出ます。「このトレイは、すごくいいね。だれが種を蒔いたんかね。」「私よ！」ハハハハ。こんな賑やかな会話も、うまく苗が育っているとき。でも、どんなに手間をかけても、運（天候運）がないとひよろひよろの苗になってしまったり、雨が多すぎて病気になったりすることがあり、がっかりします。

今、冬から春の花のビオラの苗づくりの真っ最中。2週間にわたっておよそ2000本の苗をポットに植え替えました。「今年の苗はいいよ。楽しみじゃね。」いいね！いいね！と自画自賛。私たちの作業は裏方だから、直接褒めていただくことはめったにありません。だから、自画自賛。ところが、作業ボラのKさんが、「わたしの知り合いが、『昔より安佐動物公園がきれいになったと思うよ。動物公園に行ったらあちこちに植えてある花を楽しんでいるよ』とってくれたのよ。」と話してくださいました。一足早く私の心にビオラが満開になりました。

(報告：T.T)

#### 豆知識（黒墨さん直伝）…根を傷めないポット上げの方法



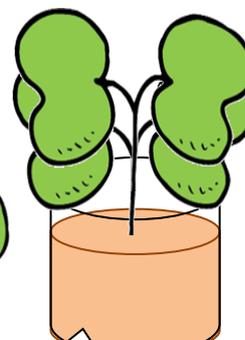
①ポットに半分ほど土を入れる。



②ポットを斜めに傾けて苗をのせる。



③上から土をかぶせる。穴をあけて差し込むのと違って根が傷まない。



④苗がポットの真中にくるようにそっと起こす。



## ひつじ村から…

ひつじ村は、毎月第4日曜日、動物園のどこかで村開き。安佐ZOO ぴーちくパークで暮らすヒツジたちにもらった羊毛を、洗う、解す、染めるなど、イベントの材料準備が主な作業です。グループ問わず、興味ある方、通りすがりの見学がてらお茶だけ参加でもOK、住民登録随時受付中！

### \*活動報告

#### ・9月のひつじ村報告

・9月24日(第4日曜日) 10:00~14:00

12月の「フェルトで雪だるま」に向けての練習、来年の干支の酉年にちなみ、ニワトリを作りました。山本さんの見本を頼りにチクチク、にぎやかなニワトリたちができました。

#### \*10・11・12月のひつじ村予定

・10月23日(第4日曜日) 10:00~15:00

作業予定:12月の「フェルトで雪だるま」に向けての準備、練習など。

・11月27日(第4日曜日) 10:00~15:00

作業予定:イベント準備の予備日。10/23 準備完了したら休みます。

・12月3日(第1土曜日)

ボライベント「フェルトで雪だるま」 9:30~12:50

お客様の参加 20名×5回=100名

#### ☆村民の皆様へ

集合9:00、終了後昼食とりながら反省会予定しています。

9:00~9:30のイベント開始前に恒例「ツリー」の飾りつけ予定しています。

少々忙しいですが、よろしくお願ひします。



## ASAZOOボランティアズのみなさまへ



### お詫び

前号の「ずうぼらだより63号」をヤマトメール便でお送りしたもののうち、2通が運送会社のミスで届けられなかったようです。おひとりはお連絡いただき郵送で送らせていただきましたが、もう一人がどなたかわからないままです。本当に申し訳ありません。

また、このようなことが起らないと信じたのですが、もし、偶数月20日発行の「ずうぼらだより」が月末になっても届かない場合は、**園企画広報係谷口さん**、または**代表 M.K**までご連絡ください。よろしくお願ひします。

### お願ひ

12月3日(第1土曜日)ボライベント「フェルトで雪だるま」のお手伝いお願ひします。

・9:00~13:00

「ひつじ村」で材料などの準備はしていますが、当日お客様の案内や受付など、お手伝いいただくと助かります。

## ◎動物園ニュース

☆マンドリルとクロサイの子の愛称が決まりました

6月16日に誕生した雌のマンドリルに「マリン」、8月13日に誕生した雌のクロサイに「ニコ」と愛称が決まり、それぞれ9月10日、22日に命名式を行いました。

☆マレーバクが誕生しました

マレーバク「ミム(雌、14歳)」が、9月20日に雄の子1頭を出産しました。このまま順調に成長すれば、当園でのマレーバクは3年ぶり7頭目、ミムの5頭目の繁殖成功例となります。



マンドリルの母子  
(左：ランマン、右：マリン)



クロサイの「ニコ」



今回誕生したマレーバクの子

## ◎お手伝いをお願いします

### 全ボランティア対象

☆動物公園でいも掘り

日時=11月19日(土) 11:00~12:00

(少雨決行、延期の場合は20日)

募集人数=15人程度

いも掘り補助、イベント後の片づけなど。

☆ASAZOO ボランティアーズ フェルトで雪だるま

日時=12月3日(土) 9:30~12:50

(集合は9:00、解散は13:00)

募集人数=15人程度

工作の補助、お客様の整理誘導など。

☆クリスマス 動物キャンドルづくり

日時=12月18日(日) 9:00~

募集人数=数名

工作の補助、お客様の整理誘導など。



フェルトで雪だるま



動物公園でいも掘り

### ガイドボランティア対象

☆バックヤードガイド

日時=毎週土曜日 11時~、13時半~ いずれも約30分程度 募集人数=2人程度 飼育係による裏側案内の補助、参加者の整理誘導など。

※毎月最終土曜日の午前は「サンちゃんツアー」、午後は「クロサイのハナに会いに行こう」

平成28年度 ZOO & ポラ予定表(11月1日～11月30日)

月日	安佐ZOO				ZOOボラ	
	イベント	バックヤードガイド		解説	作業	
		AM	PM			
11	1 火					
	2 水	臨時開園				
	3 木	文化の日・入園無料 動物画・作文詩コンクール入賞者表彰式				
	4 金					
	5 土	おとなのための飼育体験教室	ぴーちく	クマor 夜行獣	活動日	
	6 日	動物観察えさやり体験デー(キリン) オオサンショウウオ共同研究シンポジウム			みんなでガイド	
	7 月				ツアーガイド 10:30～11:30	
	8 火					
	9 水					
	10 木	休園日				
	11 金					
	12 土	アフリカゾウの一日消防隊長	ヒヒ山	ライオン	活動日	
	13 日	動物観察えさやり体験デー(キリン・ヤギ・ヒツジ)				
	14 月					
	15 火					
	16 水					
	17 木	休園日				
	18 金					
	19 土	動物公園でいも掘り	ぴーちく	スイギュウ	活動日	
	20 日	動物観察えさやり体験デー(キリン)				
	21 月					
	22 火					
	23 水	働く動物に感謝の日				
	24 木	休園日				
	25 金					
	26 土	動物公園deピクニック婚活	サンちゃん ツアー	クロサイの ハナ	活動日	
	27 日	動物観察えさやり体験デー(キリン・ヤギ・ヒツジ)			ひつじ村	
	28 月					
	29 火					
	30 水					

★ この予定は「ずうばらだより」発送時の予定です。変更される場合も有りますので、活動時などには確認してください。

★ 作業ボラの作業内容については天候等で変更されることもあります。詳しくはその都度確認ください。

平成28年度 ZOO & ボラ予定表(12月1日～12月31日)

月日	安佐ZOO				ZOOボラ	
	イベント	バックヤードガイド		解説	作業	
		AM	PM			
12月1日	木 休園日					
2日	金 鳥と記念撮影(12/2～12/28の月～金)					
3日	土 ASAZOOボランティアズ フェルトでゆきだるま	病院	キリン	ひつじ村	活動日	
4日				連絡会&ガイド		
5日		9:00～13:00 ボライベント「フェルトでゆきだるま」です。 ガイド・作業問わず、ボラの皆さんの参加ご協力				
6日				10:00～11:00 連絡会 11:30～12:30 ツアーガ		
7日						
8日	木 休園日					
9日	金					
10日	土 レッドスパークスと一緒にホッケー体験	ゾウ	調理			
11日	日 動物愛好会例会 動物講演会					
12日	月					
13日	火					
14日	水					
15日	木 休園日					
16日	金					
17日	土 動物脱出対策公開訓練	ぴーちく	ラクダ		活動日	
18日	日 クリスマス 動物キャンドル作り			忘年会		
19日	月					
20日	火					
21日	水 冬至行事「元気に冬越し 冬至はかぼちゃ」					
22日	木 休園日					
23日	金 お客様感謝デー入園無料					
24日	土 しめ縄づくり体験	サンちゃん ツアー	クロサイの ハナ			
25日	日 クリスマスイベント サイタクロースがプレゼント					
26日	月					
27日	火					
28日	水					
29日	木 休園日					
30日	金 休園日					
31日	土 休園日					

★ この予定は「ずうぼらだより」発送時の予定です。変更される場合もありますので、活動時などには確認してください。

★ 作業ボラの作業内容については天候等で変更されることもあります。詳しくはその都度確認してください。